

**日本哲学会**

**若手・非-常勤職研究者支援に関する  
アンケート集計結果**

**2014年4月**

# 目次

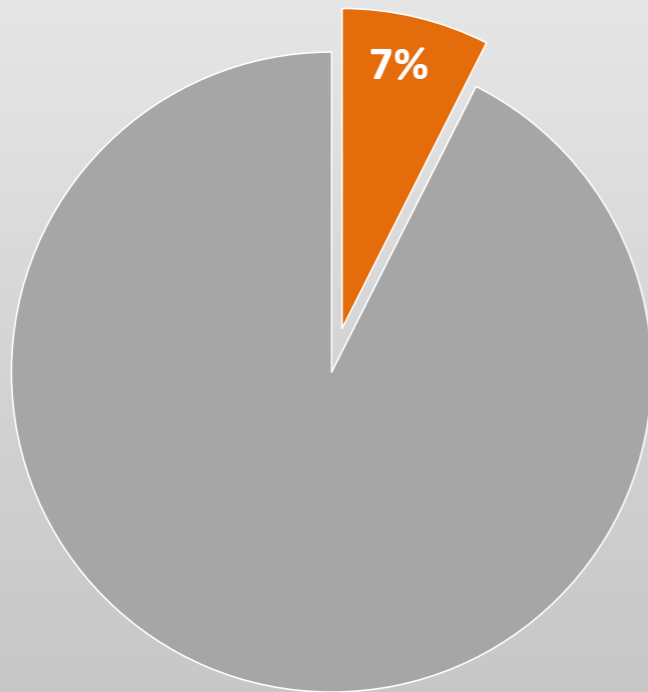
- 回収率／回答者の統計
- グラフ化にあたって
- Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だ  
と思いますか。  
(生活面・就業面、研究面)
- Q1.2 こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考えますか
- Q1.3 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、どのような問題がある  
と思いますか
- Q1.4 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか
- Q2 日本哲学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を  
講じるべきと思いますか。

# 回答率／回答者の統計

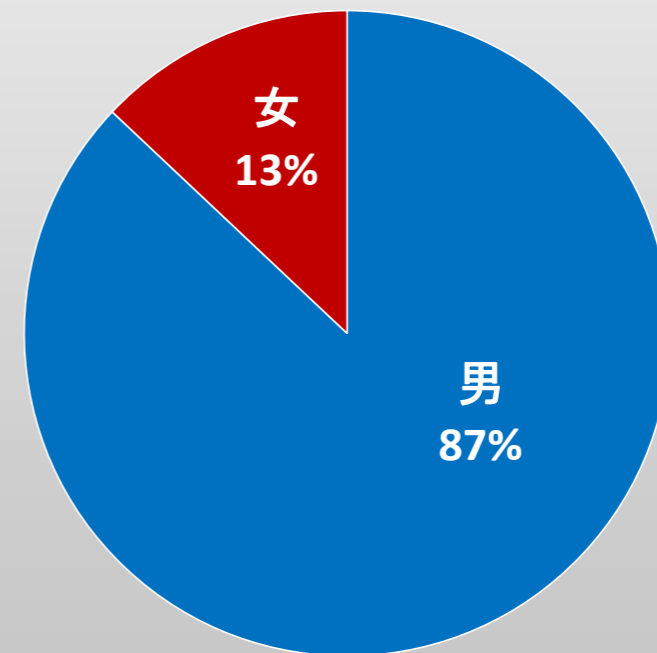
## ■回収率

配布数:1,450

回収数: 108

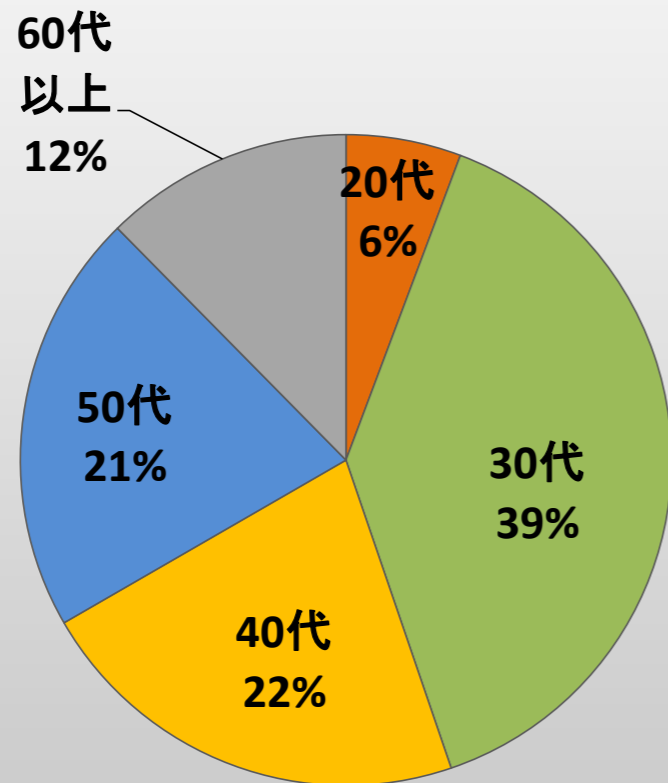


## ■性別(n=108)

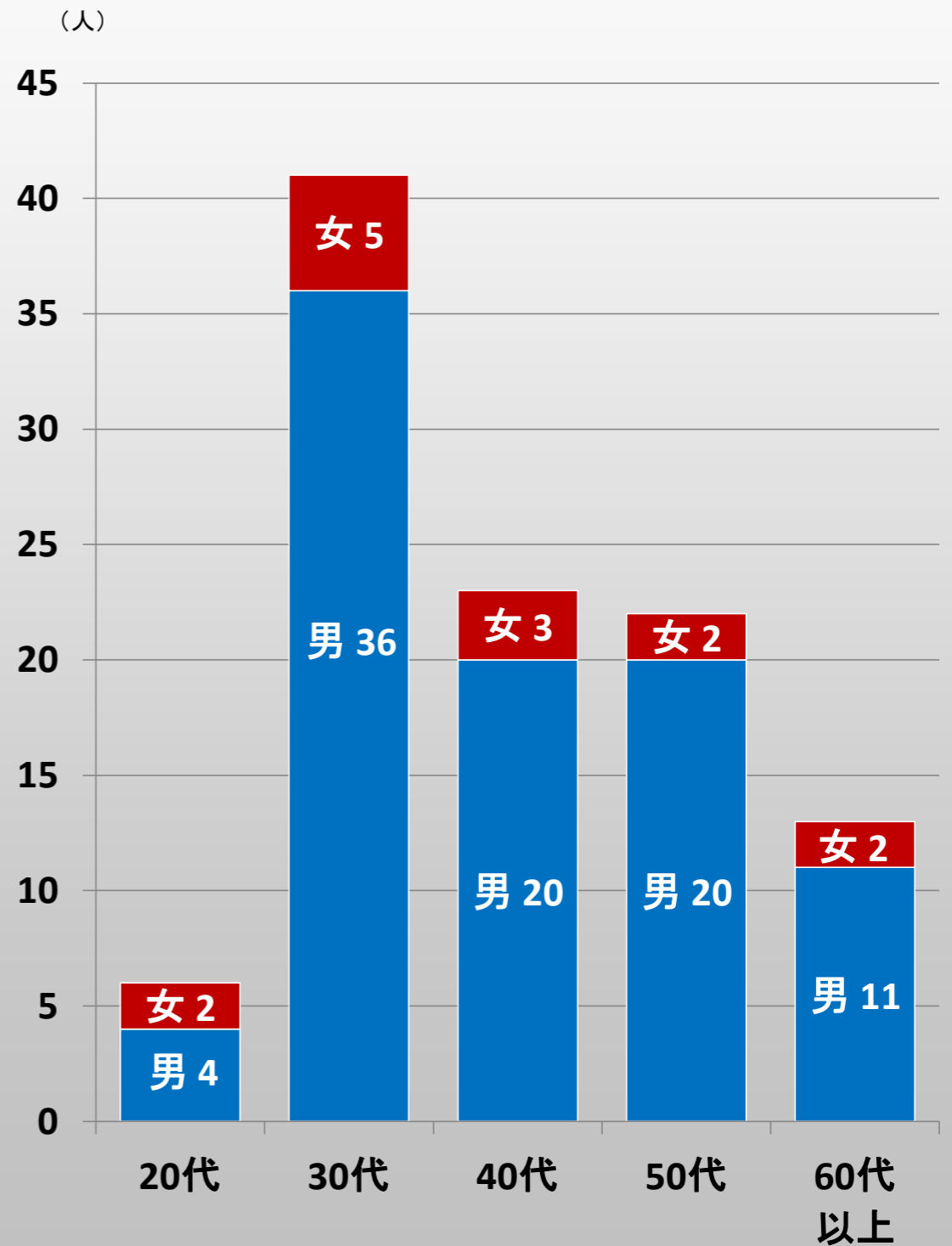


# 回答者の統計

■年代(n=105)

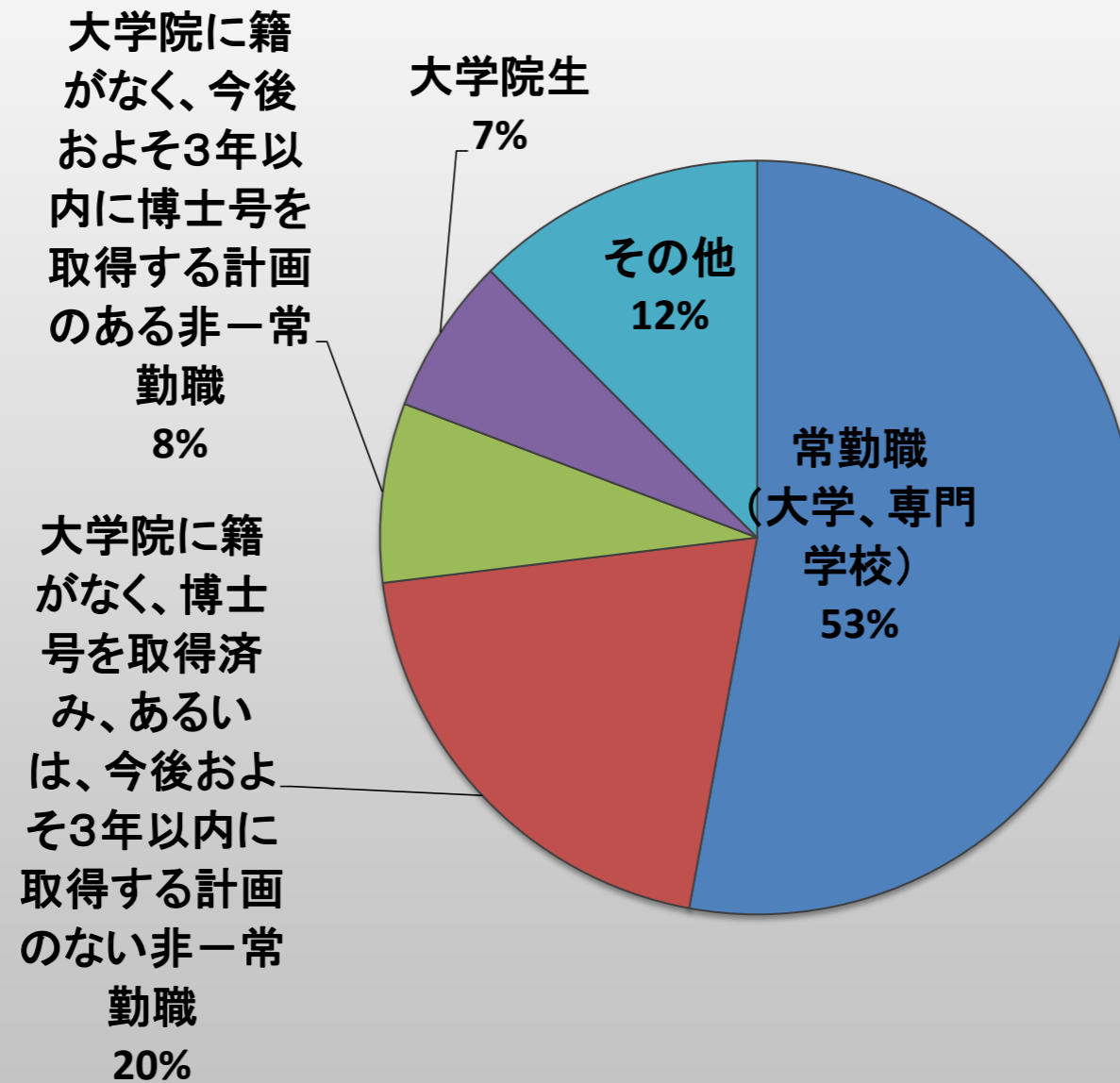


■性別×年代(n=105)



# 回答者の統計

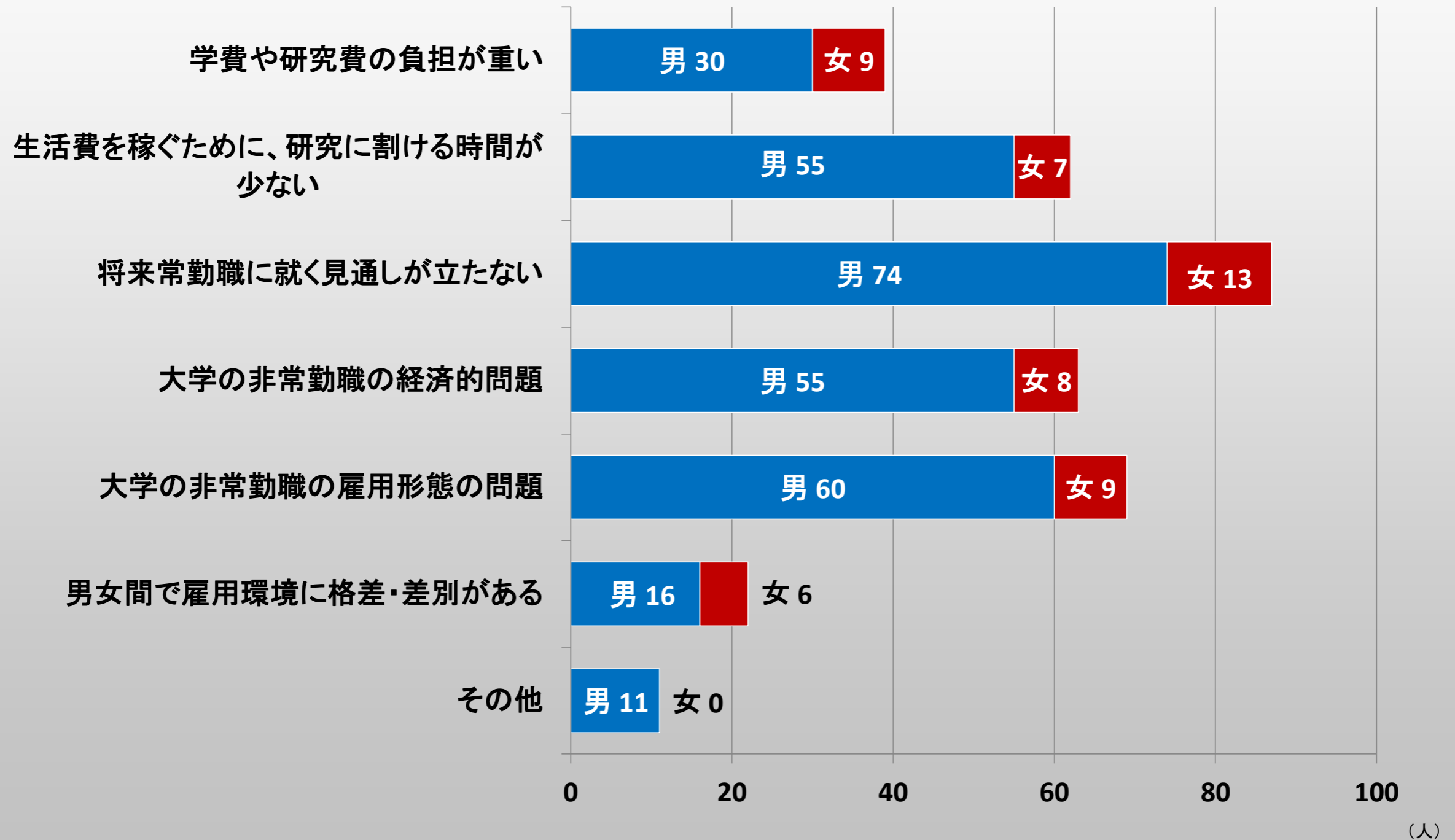
## ■立場(n=104)



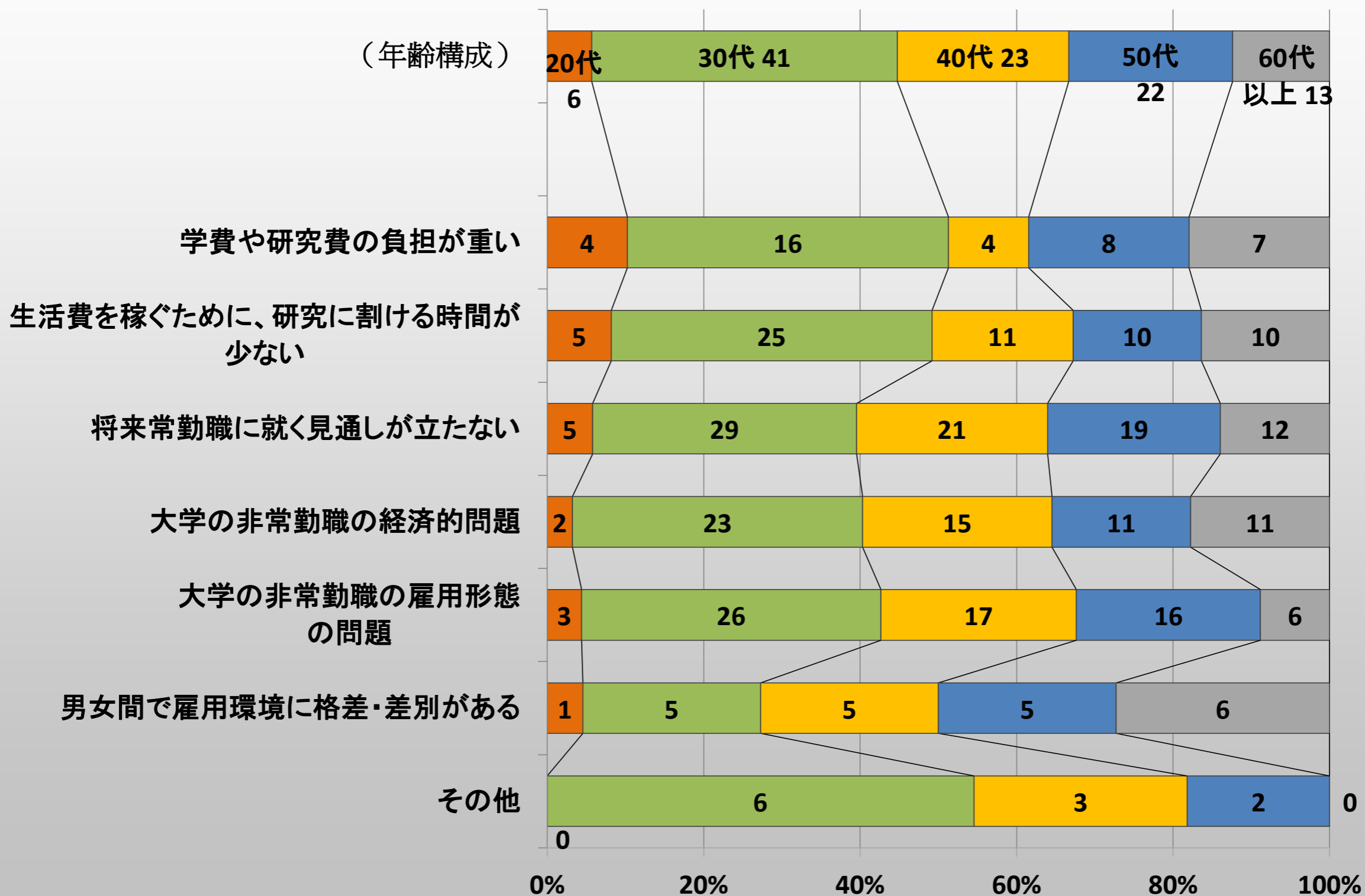
# グラフ化にあたって

1. 複数選択可の設問については、回答別に、性別についての積上げ棒グラフ、年齢についての100%積上げ棒グラフで表示します。
2. 年齢別の統計はサンプル数が少ない部分があります。参考値として表示しました。(特に20代など)

# Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思えますか／生活面・就業面（複数選択可）



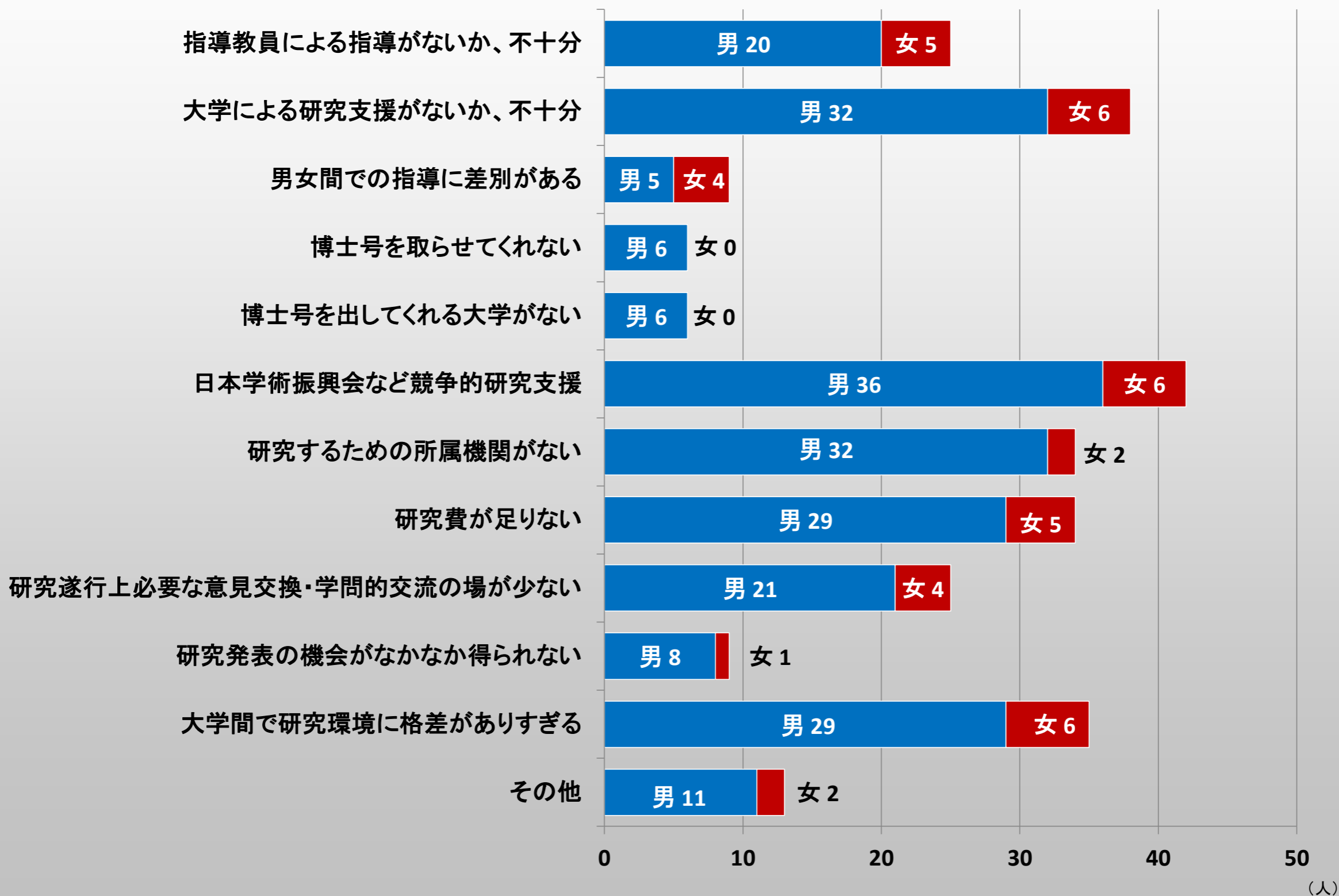
# Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思えますか／生活面・就業面（複数選択可）



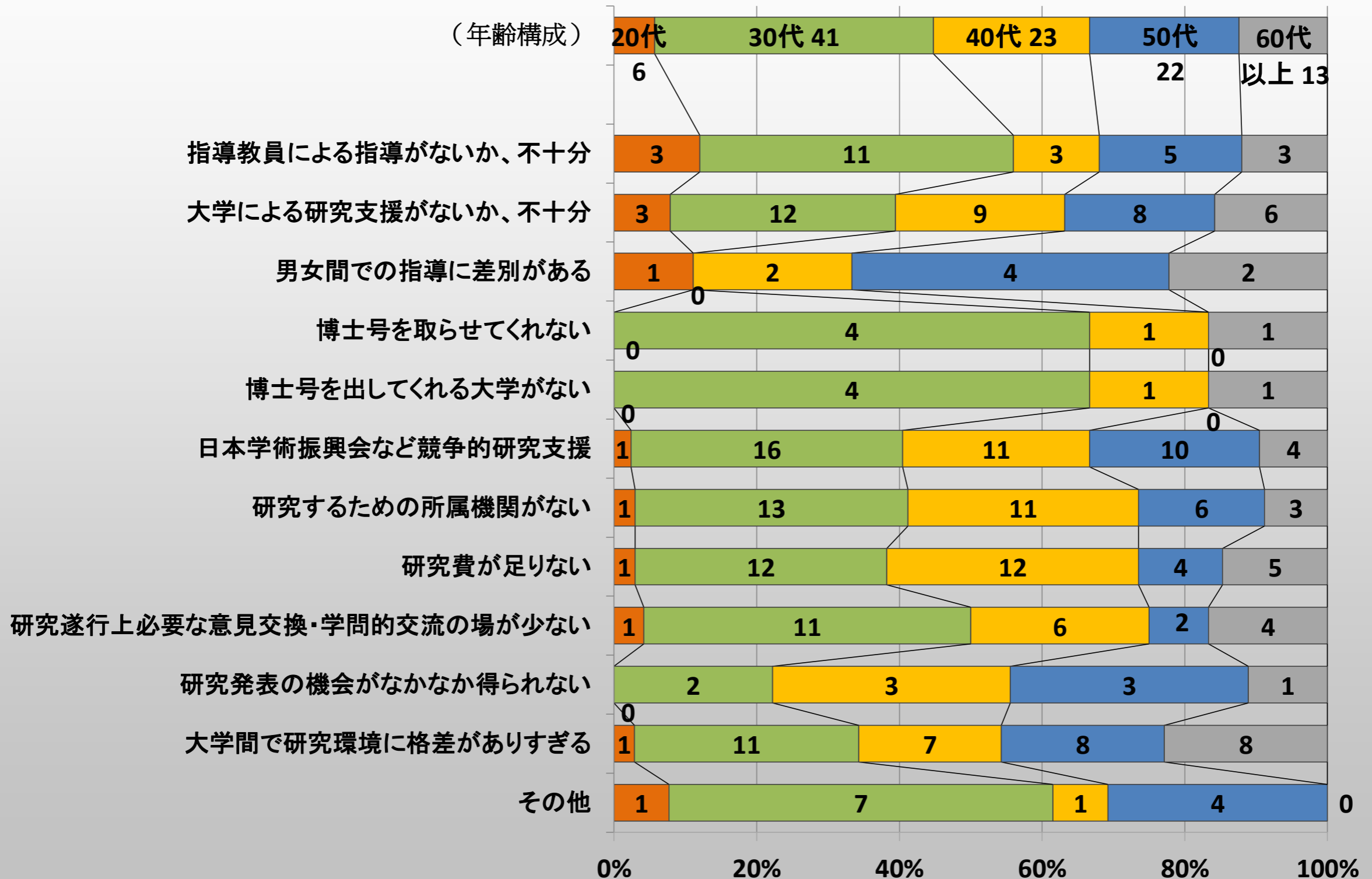


# Q1.1

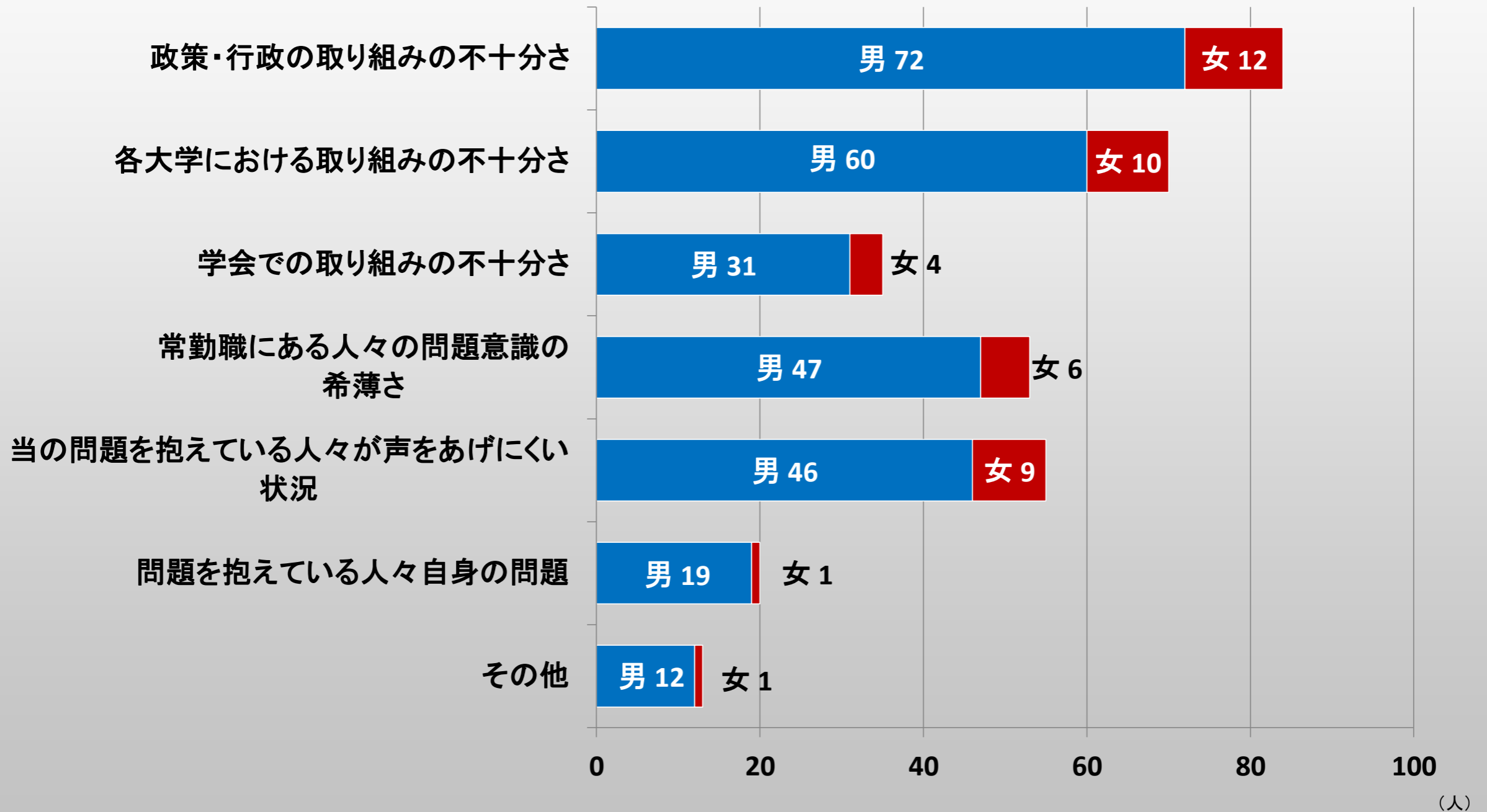
現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思いますか／研究面（複数選択可）



# Q1.1 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思えますか／研究面（複数選択可）

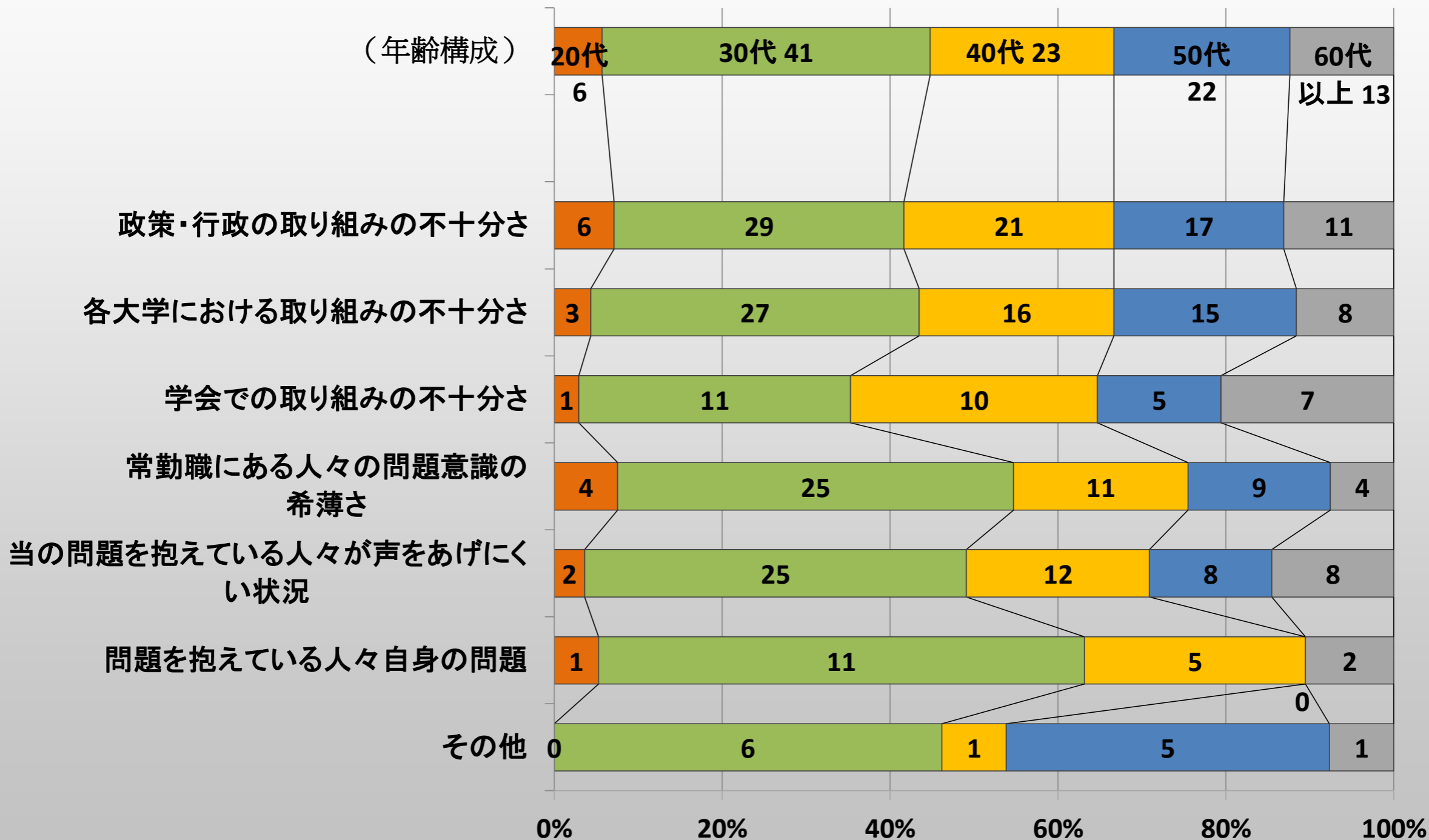


# Q1.2 こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と 考えますか (複数選択可)

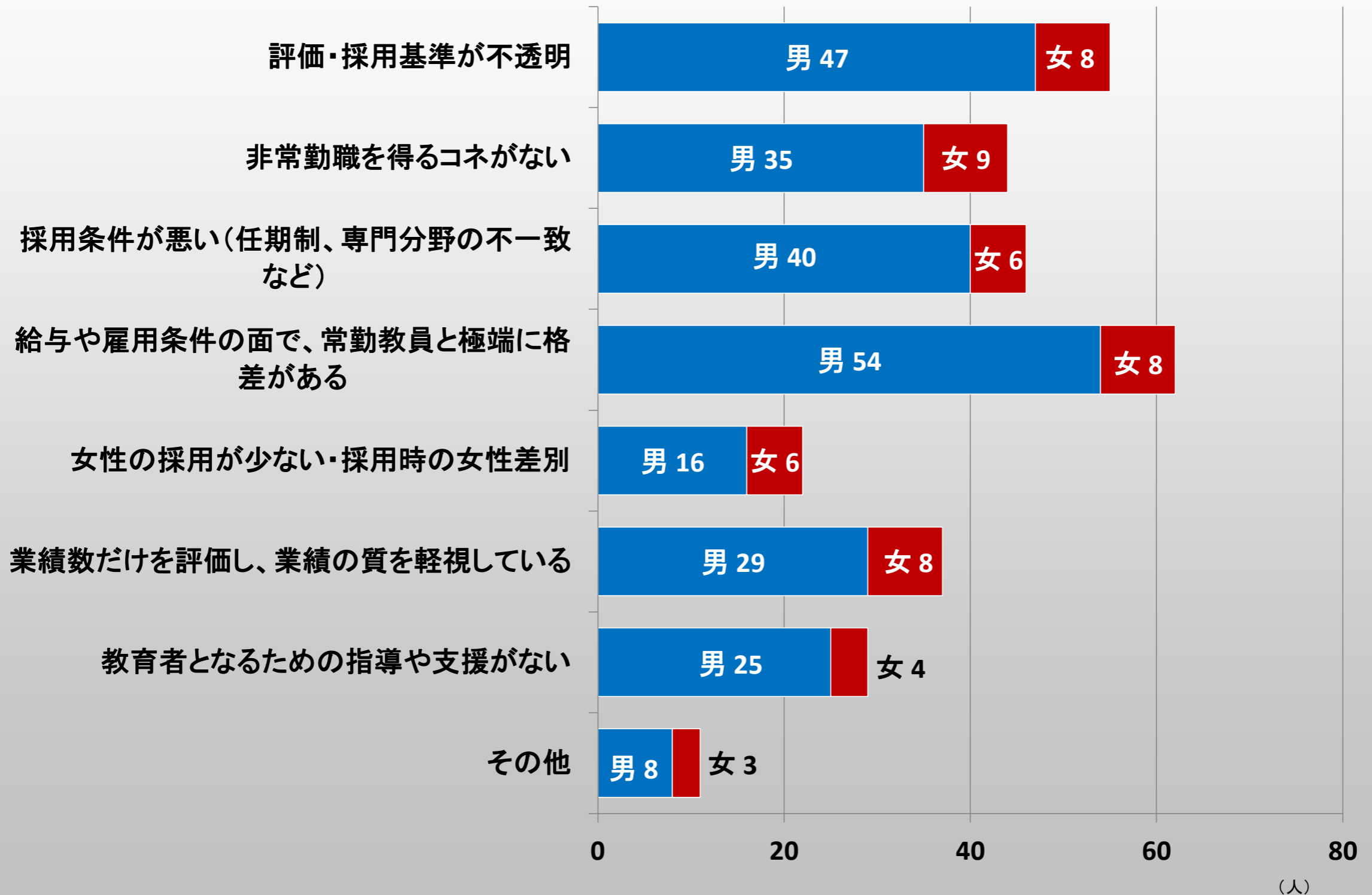


# Q1.2

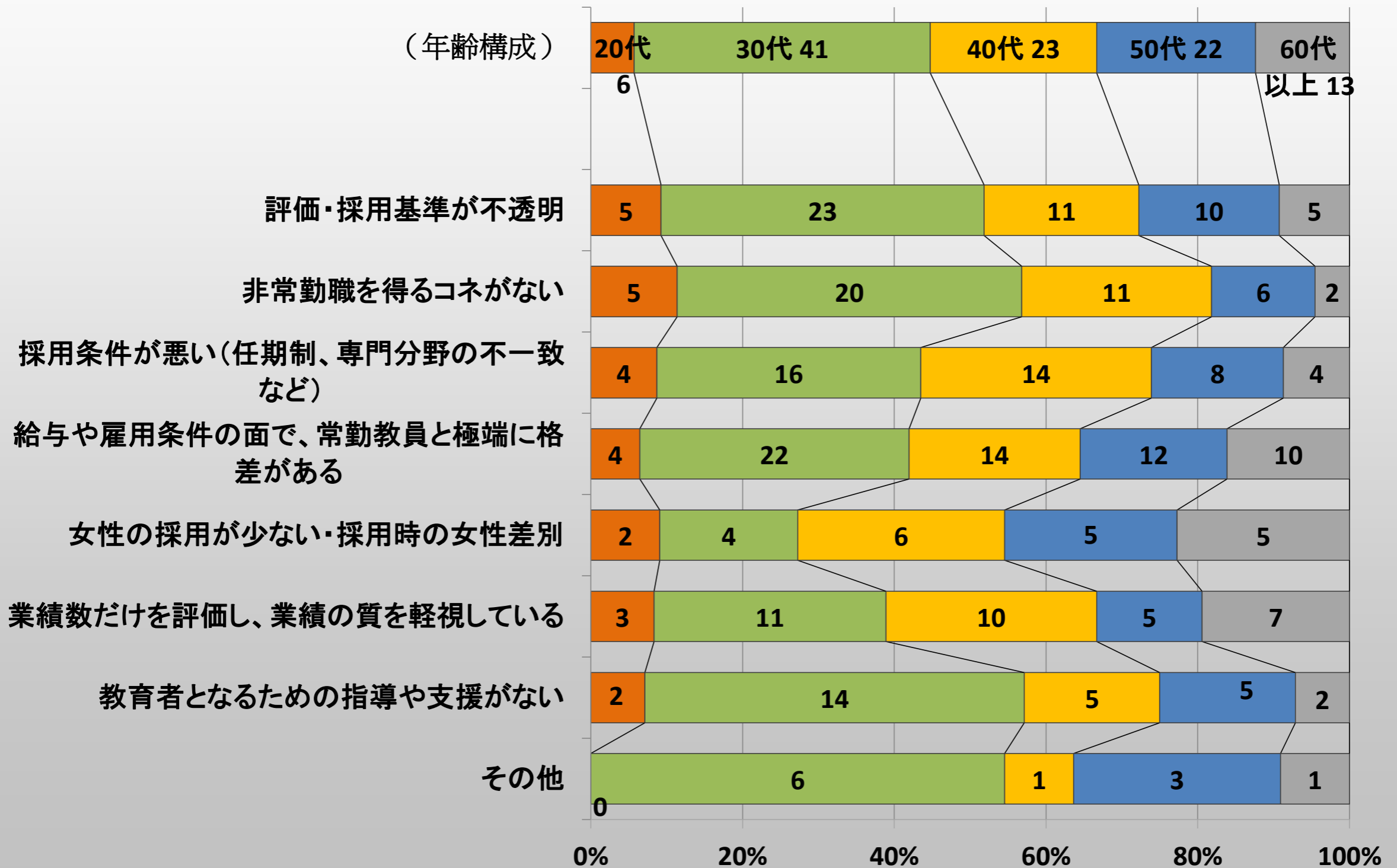
こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考えますか（複数選択可）



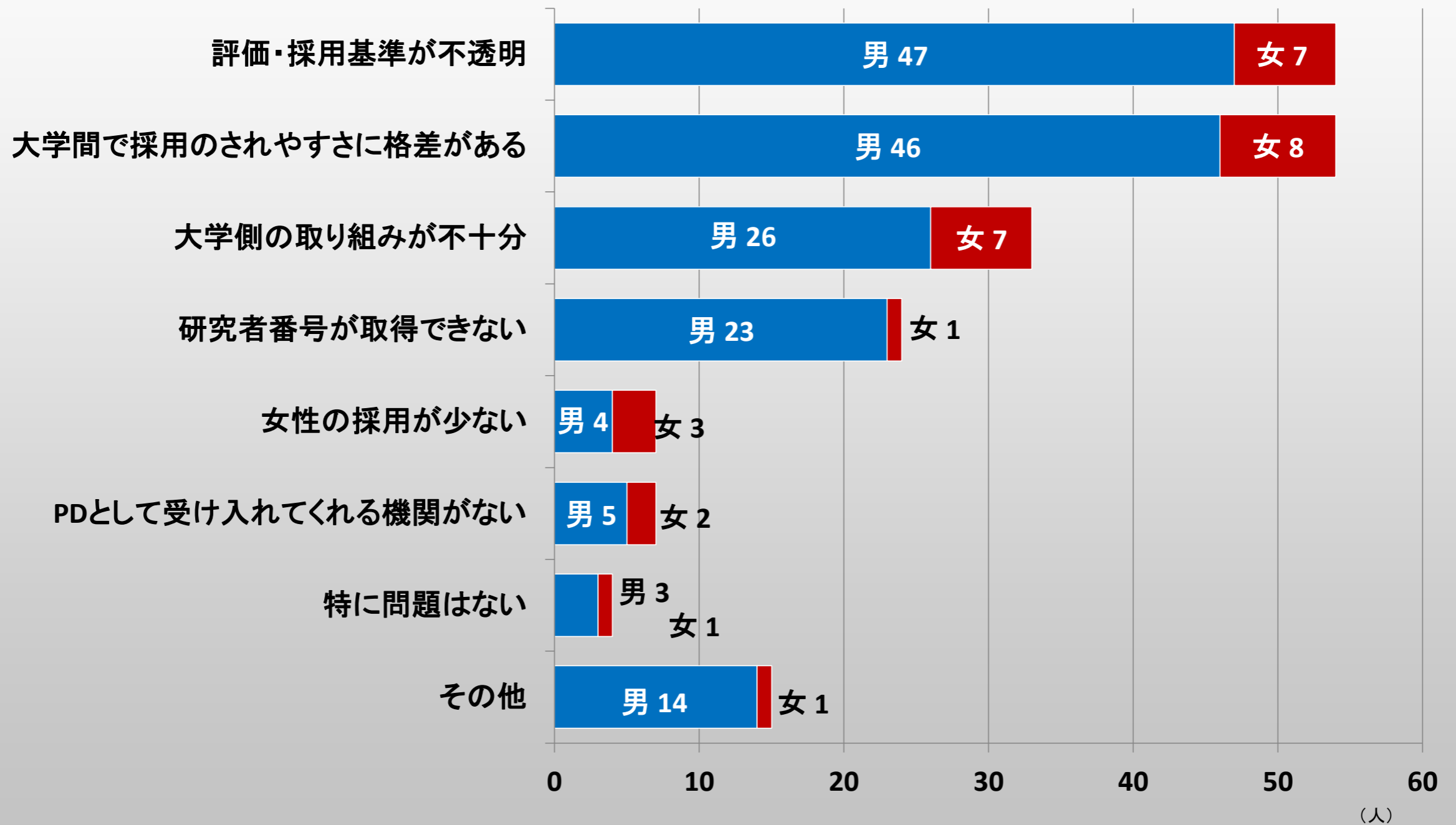
# Q1.3 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、 どのような問題があると思いますか (複数選択可)



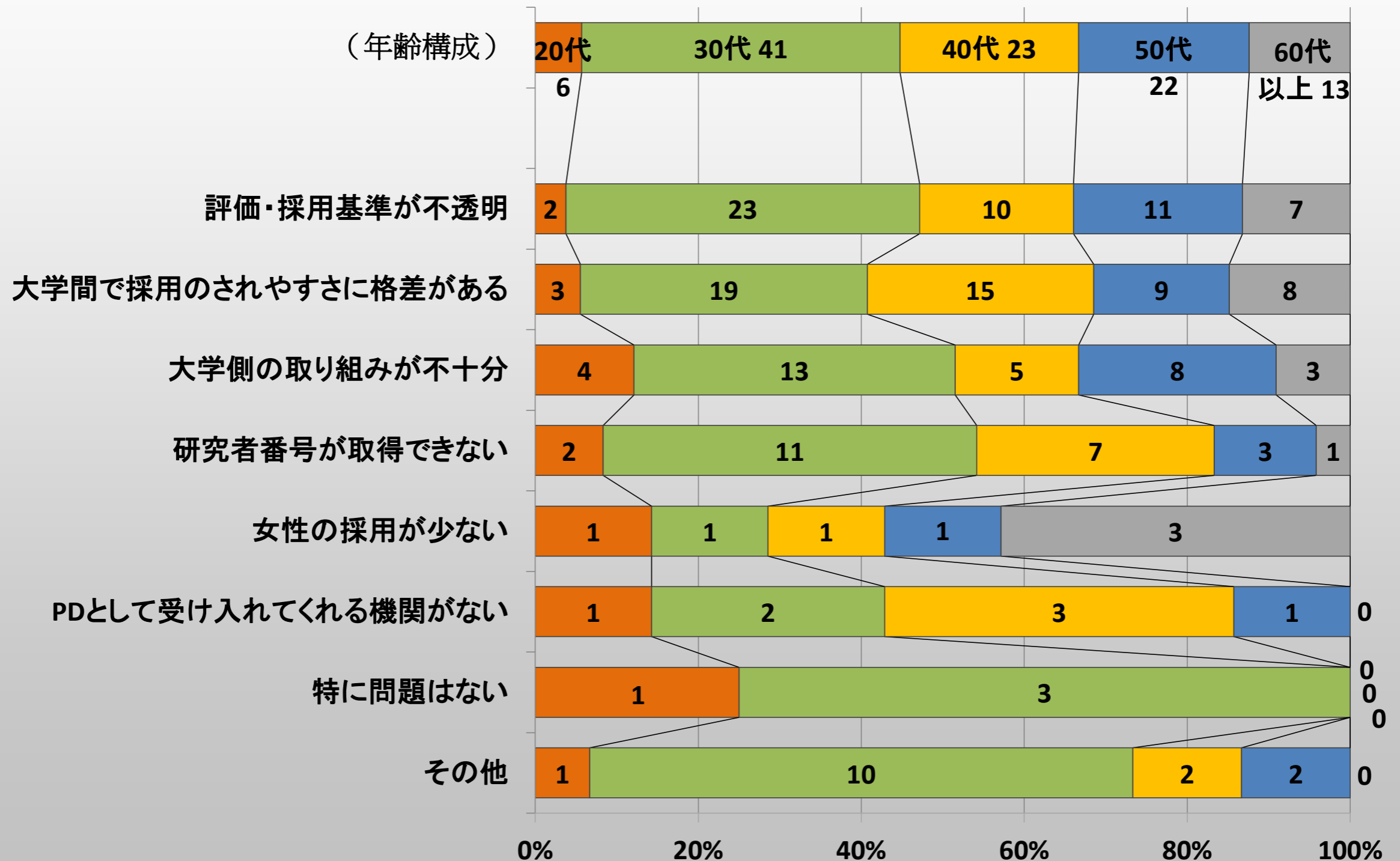
# Q1.3 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、 どのような問題があると思いますか (複数選択可)



# Q1.4 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか（複数選択可）



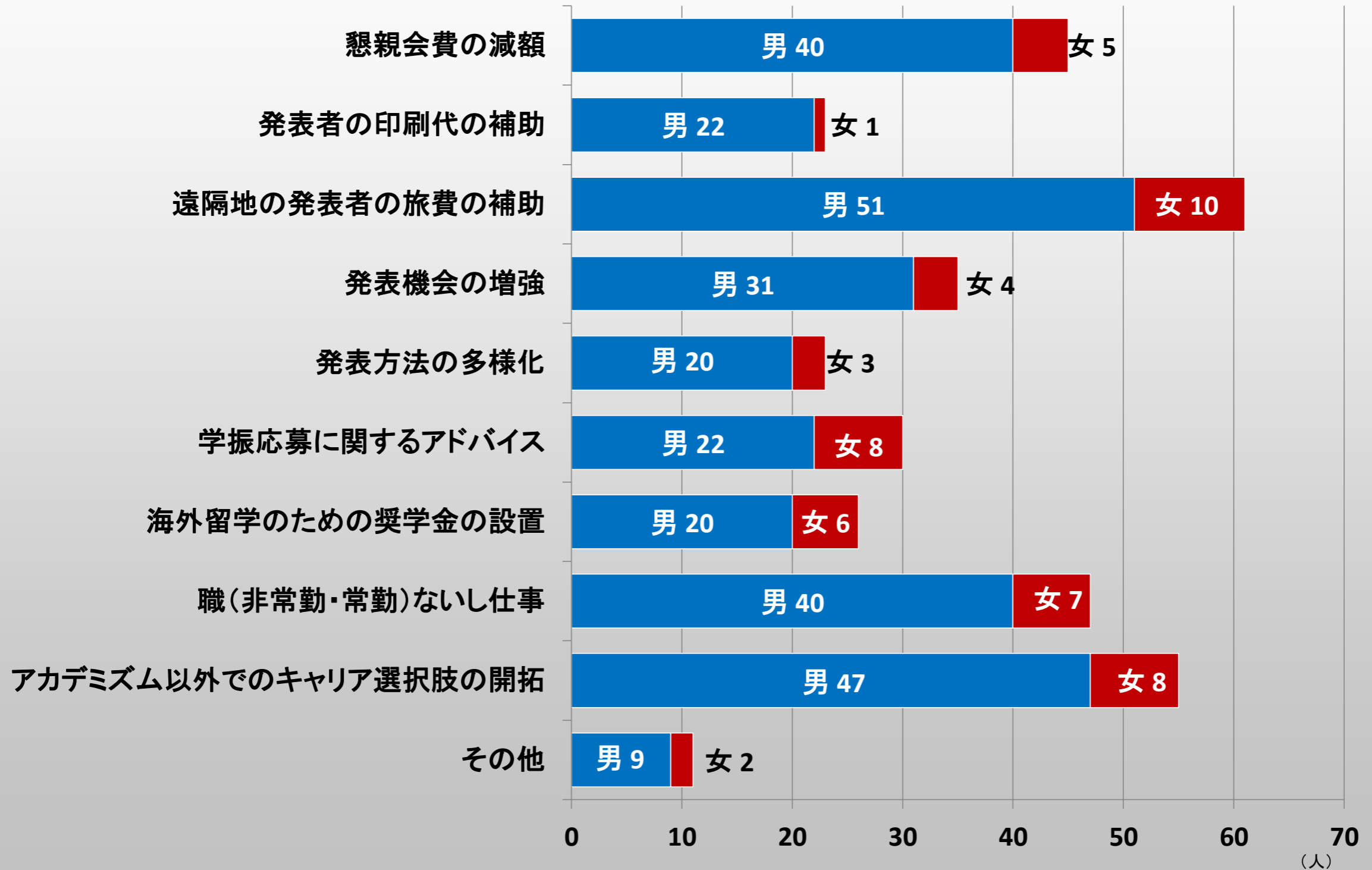
# Q1.4 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか (複数選択可)





# Q<sub>2</sub>

## 日本哲学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いますか（複数選択可）



# Q<sub>2</sub>

日本哲学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いますか（複数選択可）

